

令和7年度「災害ボランティアぐんま」通常総会 議事録

- 1 日 時 令和7年7月2日(水) 13時30分～14時40分
2 会 場 群馬県議会庁舎2階203会議室
3 理事及び会員出席数 17名(会長1、理事長1、副理事長1、理事2、
個人会員10、法人会員(1)、団体会員2)
※ほか事務局員3名

4 審議事項等

(1) 開 会

事務局により開会。

(2) 挨拶

宮田 和久 会長就任予定者

(3) 議 事

第1号議案 令和6年度事業報告(案)

第2号議案 令和6年度収支決算書(案)

令和6年度収支決算監査報告

第3号議案 令和7年度事業計画(案)

第4号議案 令和7年度収支予算書(案)

第5号議案 役員の選任(令和7年度・令和8年度)(案)

5 議事の経過概要及び議決の結果

(1) 開 会

事務局員の司会・進行により、令和7年度通常総会が開会した。

(2) 挨拶

宮田会長から挨拶。

(3) 議長の選出

議長について諮り、宮田会長が指名を受けて選出され議長となった。

(4) 議事録署名人、書記の指名

指名について、議長への一任を諮ったところ満場一致で了承された。

→ 議事録署名人を細金義光会員(理事)と山本和久会員(理事)に依頼。

→ 書記は、事務局員(県民活動支援・広聴課員)へ依頼。

(5) 議 事

① 第1号議案 令和6年度事業報告(案)、第2号議案 令和6年度収支決算書(案)

ア 議長は第1号議案、第2号議案の令和6年度事業報告(案)及び令和6年度収支決算書(案)について一括説明することを事務局に求めた。

事務局は、出席者に配布した各議案資料に基づき内容を説明した。

次に議長は、監査報告を求め、監事を代行して事務局が監査報告を読み上げた。

イ 議長から出席会員に質疑意見を求めたところ、質疑意見は無かった。

ウ 議長が、第1号議案令和6年度事業報告(案)及び第2号議案令和6年度収支決算書(案)について承認を求めたところ、大規模災害被災地への会員派遣の考え方等について質疑があり事務局から、地元被災時の救援を中心に、会員個々に義務や指示を課さず、申出があった場合の経費支援の取り組み、会員個々の活動の自由、近隣から救援要

請があった場合の活動募集などについて説明された後、原案どおり承認可決された。

② 第3号議案 令和7年度事業計画(案)、第4号議案 令和7年度収支予算書(案)

ア 議長は第3号議案、第4号議案の令和7年度事業計画(案)及び令和7年度収支予算書(案)について一括説明することを事務局に求めた。

事務局は、出席者に配布した各議案資料に基づき内容を説明した。

イ 議長から出席会員に質疑意見を求めたところ、質疑意見は無かった。

ウ 議長が、第3号議案令和7年度事業計画(案)及び第4号議案令和7年度収支予算書(案)について承認を求めたところ、団体会員等から、県による支援や被災地に赴くためのバス手配、理事の所属組織(大学)との繋がり、活動派遣指示、会費を納付する法人会員名簿付与等について意見が出された。これに対して、事務局から複数人の会員グループによる活動への支援方針他、近年の対応を踏まえての回答がなされ、さらに、理事2名から、当会設立時からの方針、活動を取り巻く情勢の変化、東日本大震災等の被災地への活動訓練を兼ねた支援の実績、大学への救援活動呼びかけ、寄附や物資の提供などを含む多面的な支援の在り方、社会福祉協議会との密な連携に基づいて進む方向性、基本的には地元及び近隣を中心とした救援活動を実践すること等について意見や説明がなされた。その後、各議案とも異議はなく、原案どおり承認可決された。

③ 第5号議案 役員の選任(案)

ア 任期2年の役員改選期にあたることから、議長は第5号議案、役員の選任(令和7年度・令和8年度)(案)について説明することを事務局に求めた。

事務局は、退任や新任にかかる状況に触れながら、出席者に配布した議案資料に基づき内容を説明した。

イ 議長から出席会員に質疑意見を求めたところ、質疑意見は無かった。

ウ 議長が、第5号議案、役員の選任(令和7年度・令和8年度)(案)について承認を求めたところ、異議はなく、原案どおり承認可決された。

(6) 閉会

事務局により閉会。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和7年7月2日

議

長

高田和久



議事録署名人

細金致光



議事録署名人

山本和久

